

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	対話型鑑賞ワークショップ		
日時	Aコース：令和6年5月11日（土） Bコース：①令和6年6月2日（日） ②6月8日（土）	各回14時開始	
場所	Aコース：長久手市文化の家 森のホール Bコース：①講義室1 ②音楽室		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	猪子奈津子（ヴァイオリン）、岩間美奈（マリンバ）、庄司直央（クラリネット）		
公演内容	Aコース：美術作品と音楽作品の対話型鑑賞（演奏曲：P.ランスキー：HOP） Bコース：①美術作品の対話型鑑賞 ②音楽作品の対話型鑑賞（演奏曲：K.プッツ：And Regions Will Rise）		
入場者数	Aコース：8人 Bコース11人	入場率 63.3%	
チケット料金	Aコース：500円 Bコース：1,000円		
支出	委託費	100,000円	
	印刷製本費	8,338円	
	音楽著作権料	1,250円	
	計	109,588円	
収入	入場料	15,000円	
	計	15,000円	
回収率	13.7%		
アンケート結果	<ul style="list-style-type: none"> ・美術と音楽の鑑賞のちがいが経験できてよかったです。（市外、40代女性） ・演奏者の方が対話に参加されていたのはびっくりしましたが、とてもよい体験でした。（市外、50代女性） ・音だけをきくより、演奏者と音があることで、心うごかされることができました。（市外、40代女性） 		
担当者コメント	<p>毎年開催している対話型鑑賞ワークショップだが、今回は初めて音楽での対話型鑑賞を取り入れた。いきなり音楽作品で対話型鑑賞をするのは難しいため、最初に導入として美術作品の鑑賞を行った。音楽の鑑賞では音源を使い、演奏者が一般の参加者に混じって鑑賞に参加した。最後に演奏者であることを紹介して、実際に生で演奏を聴いてもらった。10分程度の現代曲で、全員がその日初めて聴く作品だったが、時間をかけて鑑賞した作品を間近で演奏される感動がアンケートからも伝わってきた。新しい音楽鑑賞の方法として、今後も様々な楽曲で試していきたい。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 ロストテクノロジー「あれ・覚えていますか」

日時 令和6年4月27日（土）～5月6日（月・祝） 10:00～19:00
（最終日は17:00まで）

場所 長久手市文化の家 展示室

事業の種類 鑑賞・体験事業

出演者 文化の家フランチャイズアーティスト 橋寛憲

公演内容 主に昭和時代の日用品、ゲームや玩具などの展示
黒電話、スライド映写機、MSX、テレビゲーム15、タイプライター、ワープロなど

入場者数 1280

チケット料金 無料

支 出		委託費
	展示物管理案内業務委託	86,570円
	印刷製本費	23,806円
	計	86,570円

収 入		入場料
		計
		0円

回収率 0.0%

アンケート結果 子どもが昭和のものに興味があり、実物に触れられてとても喜んだ。展示物のキャプションも面白かった。（市外、40代女性）
似たようなものが家にもあり、懐かしい思いがした。（市内、60代男性）
子どもにも、自分が子どもだった頃の話をする事ができ、子どもにとっても興味深い体験だったと思う。（市内、40代女性）

担当者
コメント 針金造形作家として活躍する文化の家フランチャイズアーティスト橋寛憲の企画展。主に作家が所有する、中高年層が学生時代に慣れ親しんだ当時の革新的技術を使った玩具や日用品を揃えた展示。夢中になる大人はもちろん、親子で楽しむ姿や、当時を懐かしむ高齢者もいるなど、老若男女問わず、非常に多くの来場者があり、次回開催を希望する声も多く大きな反響を呼んだ。ジャンルや年代を絞り、展示品を増やせると良い。また、自由に遊べる物もあったが、管理や破損への対策を練る必要がある。



長久手市文化の家 自主事業報告書

事業名	長久手市インクルーシブアート展 Galaxy with your planet		
日時	令和6年5月15日（水）～26日（日）		
場所	長久手市文化の家 展示室		
事業の種類	普及・啓発事業		
出展者	市内福祉事業所所属の市民等、関連ワークショップ参加者		
公演内容	長久手市内の9つの福祉事業所に所属している作家が制作した作品及び関連ワークショップにおいて参加者が制作した作品の展示。 今回はテーマを「みんなでつくる銀河」とし、丸い紙に思い思いの惑星（ほし）を描いていただき、展示した。		
入場者数	2003	（関連ワークショップ参加者：15人）	
チケット料金	無料		
支出	印刷製本費		11,737円
	計		11,737円
収入	入場料（無料）		0円
	障害者自立支援費補助金		金額未定
	計		—
回収率	—		

アンケート結果

幻想的で、それぞれの作家さんの個性が浮かぶ世界でした。（市外、60代女性）
 ゆっくり静かに見学できました。BGMもいいですね！（市内、60代女性）
 宇宙のイメージだから仕方がないかもしれないが、もう少し照明が明るい方が作品のきれいな色が見やすかった。（市内、40代女性）
 お絵描きコーナーがあり、参加型で楽しめました。（市内、30代女性）

担当者コメント

令和4年度から始まったインクルーシブアート展も3回目。今年度は、副題を「Galaxy with your planet」、テーマを「みんなでつくる銀河」とし、市内福祉事業所に通われる方々及び関連ワークショップ参加者に丸い紙を配布し、思い思いの惑星（ほし）を描いていただき、展示室の壁に展示した。展示室の壁は黒い不織布で覆い、暗めのライティングを設定。さらにBGMを流し宇宙空間を演出したことで、幻想的で落ち着いた空間であったという評が多くあった半面、暗くて作品が見づらかったという意見もみられた。ただし、来場者はおおむね作家の様々な個性や感性を感じ取りながら楽しんでおり、また片面の壁に設けたお絵描きコーナーもすぐに埋まってしまうなど好評であった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	午後の笑時間 東西聴きくらべ落語会 柳家勸之助ひとり会		
日時	令和6年5月16日（木）	13時30分 開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	普及・啓発事業（提携）		
出演者	柳家勸之助（やなぎや かのすけ）		
公演内容	一、花筏 一、紺屋高尾		
入場者数	79	入場率	96.3%
チケット料金	(前売) 1,200円 (当日) 1,500円		
支出	提携事業のため支出なし 計 0円		
収入	提携事業のため収入なし 計 0円		
回収率			

アンケート結果 落語は生で初めて聞きましたがすごかった。迫力あった、また聞きたい。（市内、40代女性）
これからも東西聴きくらべを恒例公演にしていってほしい。（市外、60代女性）
会場が大きさが寄席のようなこじんまりさでよかった。（市外、70代女性）

担当者コメント 昨年の落語会に続き、江戸落語柳家一門の勸之助さんに登場いただいた。勸之助さんは、柳家小さん師匠の孫弟子で本日が小さんの命日とあってか、二席の落語は予定時間をオーバーする熱の入りようだった。相撲をネタにした「花筏」、花魁との恋心を綴る人情噺「紺屋高尾」。小空間の間近で聞くからこそ伝わる師匠の語りに満席の会場は笑いと感動に包まれた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	舞台『ドレミの歌』		
日時	2024年5月18日（土）①13:00開演、②17:00開演 2024年5月19日（日）③13:00開演		
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）	配信	なし
出演者	秋山ゆずき、山口乃々華、高井千帆、横山結衣、嶋梨夏、佐々木優佳香、岡部直弥、青地洋、須田真魚、田野聖子		
公演内容	舞台『ドレミの歌』 作・演出：平塚直隆（オイスターズ）		
入場者数	284	入場率	33.7%
チケット料金	（前売）フレンズ会員5,000円、一般8,800円、特典付き9,900円 （当日）一般8,800円		
支出	提携事業のため支出なし 計 0円		
収入	提携事業のため収入なし 計 0円		
回収率	※提携先にてアンケートを実施しておらず回収なし。		

アンケート結果

担当者 コメント

東海圏で活躍している平塚直隆の代表作である『ドレミの歌』を、秋山ゆずきをはじめとしたアイドルが熱演した。終始笑いが溢れ、とても楽しんで観劇してもらえた様子だった。また、普段あまり文化の家に足を運ばないような客層も多く、認知度に繋げることができた。一方で、普段の演劇公演に来場するような層はほとんど来ていなかった。公演の周知方法がSNSメインとなっており、東海圏の演劇界ではまだまだ主流となっているチラシ折込がほとんどされていなかったため、周知自体ができていなかったことは反省点。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	長久手市文化の家開館25周年記念公演 長久手の音を紡ぐ 川上ミネ ピアノコンサート		
日時	令和6年5月25日（土）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 ガレリア		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	川上ミネ		

公演内容 完成したCD「NAGAKUTE」から数曲を選んで披露

入場者数	153		
支出	委託費	30,000円	
	計	30,000円	
収入	入場料		
	計	0円	
回収率	0.0%		

アンケート結果 語りが音楽への思いが一曲一曲聞けて感動した。（市内、70代女性）
ミネさんの音の原点はここにあるんだとなんだかうれしくなった。（市内、60代女性）
私の魂もゆさぶられいやされた想いだった。（市内、60代女性）

担当者
コメント

長久手市出身の世界的ピアニストで作曲家の川上ミネさんが昨年の文化の家25周年のために「長久手の自然風景」をテーマに書き下ろした楽曲をCD販売することとなり、CDジャケットの表紙を飾る絵を広く募集した。CD披露となった、当日は応募者はもちろんのこと、日本各地から多くのお客様が足を運んだ。ミネさんの音楽を通じて市の魅力が深まったと感じる。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 新創造スタッフお披露目ガレリアパフォーマンス

日時 令和6年6月2日（日） 11時00分開演

場所 北ガレリア

事業の種類 鑑賞・体験事業 配信 なし

出演者 創造スタッフ（電子ピアノ：伊藤天音、演劇：屑屋あず、パーカッション：内田一晟）

公演内容 文化の家創造スタッフの新メンバー「伊藤天音（鍵盤・さっきょく）・屑屋あず（演劇）」、昨年度から創造スタッフ「内田一晟（打楽器）」によるガレリアパフォーマンス！
音楽と演劇のコラボパフォーマンス！！

入場者数 35 入場率 76.1%

チケット料金 無料

支出 提携事業のため支出なし
計 0円

収入 提携事業のため収入なし
計 0円

回収率

アンケート結果 すごかった（市内、9歳以下女性）
とても素敵な時間を過ごさせてもらいました。また来ます。（市外、40代女性）
屋前のひとときゆっくり聞くことができた（市内、70代女性）

担当者
コメント

令和6年度から新たに創造スタッフに加わった音楽系創造スタッフ（鍵盤・作曲）の伊藤天音と演劇系創造スタッフの屑屋あずのお披露目としてアピールすることができた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	おんぱく2024 真夏のおんがく大縁日 楽器妖怪がやってくる～大縁日のその前に～		
日時	令和6年6月15日（土）	①11時3分開演	②14時開演
場所	イオンモール長久手		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	石川貴憲（Sax）、小田 美沙紀（Cl）、細川杏子(Fl)、山崎瑞季（Hr）、みやけん（Tb,Pf）、弓立翔哉(Per)、内田一晟(Per、音楽系創造スタッフ)		
公演内容	おんぱく大縁日（芳賀傑 委嘱作品）、東京ブギウギ、元禄、マツケンサンバ、朝のパレード（みやけん）など		
入場者数	①282	②467	
チケット料金	無料		
支出	委託費		
	計		0円
収入	入場料		
	計		0円
回収率			
アンケート結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょうちんを作るワークショップが、可愛くて簡単でよかった。（市内、30代女性） ・工作目的で来たが、音楽が素晴らしかった。（市外、40代女性） ・コロナ禍でなかなか生の音楽に触れられなかったので楽しかった。ワークショップも子供が喜んでいた。（市内、40代女性） 		
担当者コメント	<p>8月4日開催の「おんぱく2024～真夏のおんがく大縁日～」を告知と市内の機運を高めるため、プレコンサートとして「まちなかコンサート」を実施している。今回はイオンモール長久手の協力のもと開催した。</p> <p>コロナ禍も落ち着き、イオン自体も集客の多い中で、700人を超えるお客様に会場いただいた。2013,1024年の小学校であーとに出演したYouTuberのみやけんも出演し、リクエスト演奏にも応えるなど、大盛況だった。午後の回は特にお客様が集中し、急遽席を増やす対応をしたが、通</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 中学校であーと（南中学校）

日時 令和6年6月20日（木）

場所 長久手市立南中学校

事業の種類 普及・啓発事業 配信 なし

出演者 BONE-appetit Trombone Quartet（秋口響哉、川上龍、吉田優志、木村純季）

公演内容
 トロンボーン四重奏によるアウトリーチ
 J.アグレル：ゴスペル・タイム
 H.フィルモア：Lassus Trombone
 C.ドビュッシー：亜麻色の髪の乙女
 A.ピアソラ：Yo soy Maria
 P.スパーク：トウキョウトリップティック

入場者数 275 中学1年生8クラス

支出 委託費 100,000円

計 100,000円

収入 文化庁助成金 金額未定

計 0円

回収率 —

トロンボーンの中でも、音の役割分担がされていて驚いた。（生徒）
 音楽はたくさんの魅力があり、人と人を引き合わせる力があるんだと感じた。（生徒）
 音をなめらかに繋げることができたり歌っているように聞こえる演奏をしていたことが印象に残った。（生徒）

アンケート結果 おとやトロンボーン博士が面白かった。（生徒）

トロンボーンのことはあまり知らなかったが、いざ演奏を聞くととても綺麗な音色が部屋全体に響いて引き込まれた。（生徒）
 トロンボーンの管を分解して演奏する場面で、生徒がすごいと反応していた。また、生演奏を聴いて、音の大きさや圧にびっくりしたようだった。（教員）

担当者
コメント

令和4年度に長久手市長賞を受賞した愛知県立芸術大学大学院生の秋口響哉氏率いるBONE-appetit Trombone Quartet（ボナペティトロンボーンカルテット）が中学校であーとに初登場。トロンボーンの魅力や、各出演者のトロンボーンへの想いを伝えるための構成づくりに苦心し、打合せやランスルーを直前まで重ねた。当日は、トロンボーンの魅力を主な3点（重奏の際の綺麗な和音の響き、歌うような表現、力強い音色）にまとめ、その3点を中心にトークと演奏を展開することで、要点が生徒にもよく伝わっていたように思う。また、秋口氏が白衣を着てトロンボーンについて説明する場面では、驚きや感嘆の声が挙がっていた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	眠る美術博覧会		
日時	令和6年6月20日(木)から6月30日(日)まで	10:00~19:00	
		(最終日は17:00まで)	
場所	長久手市文化の家 展示室		
事業の種類	市民参画事業		
出展者	一般市民から公募した、所有する芸術作品15点		
公演内容	市民が様々な場面で購入した美術作品を、購入したエピソードを添えて作品を募集し、文化の家で展示する。		
入場者数	551		
チケット料金	無料		
支出	作品搬入・展示補助		
	展示物案内管理	96,448円	
	計	96,448円	
収入	入場料	0円	
	計	0円	
回収率		0.0%	

アンケート結果

作家と所有者とのストーリーを知り作品を見るのは、深みを感じた。(県内、40代男性)
 キャプションが個性的で面白かった。作品とエピソードで2度楽しめた。(県外、20代女性)
 エピソードがあり、ただ絵を見るのとは全く違って伝わってくるものがあった。(市内、50代男性)

担当者コメント

初回、購入したエピソードを読んでもらうという、企画自体がとても好評で、今回2度目の開催。芸術作品を生活の中に取り入れるきっかけを知り、来場者自らが芸術作品を購入することに繋がることで、市民の文化に対する質の向上を目的に初開催した。一般市民が所有する芸術作品を募集し、15点が集まった。応募者からは、受け継いだ作品や寄贈された作品も応募出来たら嬉しいなどの声があった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	おんぱく2024 真夏のおんがく大縁日 オープニングコンサート		
日時	令和6年6月23日(日)	11時00分開演	
場所	長久手市文化の家 アトリウム		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	森寿美(楽器妖怪はかせ役) 石川貴憲(Sax)、大嶋漢(Sax)、横地真弘(Sax)、岡田恵実(Sax)、小田美沙紀(Cl)、山崎瑞季(Hr)、土井麻理子(Tu)、内田一晟(Per、音楽系創造スタッフ) 林友里菜(舞踊系創造スタッフ)		
公演内容	サクソ四重奏のちょっと日本風なボレロ、琉球幻想曲、インマークライナー、トランペット吹きの日、グランドバーレファンファーレ、あながたどこさ、おんぱく大縁日!!(芳賀傑委嘱作品)		
入場者数	634		
チケット料金	無料		
支出	委託費		
	計		0円
収入	入場料		
	計		0円
回収率			
アンケート結果	<p>民謡がアレンジされた曲がとてもかっこよかった!見せ方が楽しく、子どもたちも楽しんでいた。(市内、40代女性)</p> <p>9才の子が小さい時におんぱくに行ってとても楽しかったからまた行きたい。子どもをつれて音楽聞けるのがとてもうれしい。(市内、40代女性)</p> <p>演者の方の司会とても良かった、引き込まれた。とおりゃんせ、あながたどこさ、などがとてもよかった。(市内、30代女性)</p>		
担当者コメント	<p>8月4日開催の「おんぱく2024～真夏のおんがく大縁日～」のオープニングコンサートを開催した。例年オープニングコンサートを実施した後、市内各所でコンサートを行っている。</p> <p>保育園～小学校へチラシ配布をしたこともあり、600人を超える来場者がアトリウムを訪れた。8月4日のメインコンサートで登場する「楽器妖怪はかせ」が出演し、おんぱく当日の雰囲気伝えることができた。一方で、6月15日にイオンモールで開催したコンサートと同様に、来場者が溢れオーバーキャパシティとなってしまったことから、想定外の来場者数への対策という課題が残った。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	フレンズ企画 Part46 JルークスシンガーズEnsemble スペシャルコンサート		
日時	令和6年6月29日（土）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	市民参画事業（提携）	配信	なし
出演者	JルークスシンガーズEnsemble		
公演内容	「日本の歌による5つの合唱曲より「故郷」（B.チルコット編曲、鷗（三好達治作詞・木下牧子作曲））、ジブリメドレー ほか		
入場者数	364	入場率	61.8%
チケット料金	（前売）フレンズ会員本人1,500円一般2,000円小中高生500円 （当日）同上		
支出			提携事業のため支出なし
		計	0円
収入			提携事業のため収入なし
		計	0円
回収率			
アンケート結果	実施せず		

担当者
コメント

誰もが知る童謡やジブリの曲のほかに、混声合唱のための新しい曲などバラエティーに富んだ構成で、幅広い年代の観客も皆満足そうだった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	おんぱく2024 真夏のおんがく大縁日 まちなかコンサート		
日時	令和6年6月30日（日）	11時00分 開演	
場所	①長久手市公民館 ②市が洞小校区共生ステーション		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	中家亜里紗(Tp)、片岡卓也(Tp)、山崎瑞季(Hr)、古川摩美(Tb)、土井麻理子(Tu)		
公演内容	民謡コレクション、ラテンジブリ、That's A Plenty、おんぱく大縁日!!（芳賀傑 委嘱作品）		
入場者数	① 120	② 72	
チケット料金	無料		
支出	委託費		
	計		0円
収入	入場料		
	計		0円
回収率			
アンケート結果	<p>小さい子供達が楽器に興味をわくように楽しく面白く説明していてよかった（市外、50代女性）</p> <p>近くで聞いてよかった。各楽器の役割の説明もあまり聞けるものではなくよかった（市内、30代男性）</p> <p>1歳7ヶ月の娘が「おんぱく聴きに行く？」とよく尋ねてくるようになりました。当日も楽しみです（しない、30代女性）</p>		
担当者コメント	<p>8月4日開催の「おんぱく2024～真夏のおんがく大縁日～」を告知と市内の機運を高めるため、プレコンサートとして「まちなかコンサート」を実施している。今回は金管五重奏によるコンサートで、メインメロディーを各楽器で回しながら演奏することで、楽器の特徴を伝えるなどの工夫があるコンサートとなった。1回目の公演後に、文化の家に向かいチケットを購入するお客さまも多く、完売間近だった8月4日の公演チケットが完売した。市が洞小校区共生ステーションでのアウトリーチは初の取り組みで、施設職員との調整不足の面もあった。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	中学校であーと（長久手中学校）		
日時	令和6年7月3日（水）		
場所	長久手市立長久手中学校		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	なし
出演者	弘和業務店（打楽器アンサンブルグループ） 弓立翔哉、上村笑穂、内田一晟		
公演内容	打楽器アンサンブルのアウトリーチ surprise ! Trio per Uno Table（テーブルの音楽） リズム実践コーナー オレカマ		
入場者数	164	中学1年生5クラス	
支出		委託費	90,000円
		計	90,000円
収入		文化庁助成金	金額未定
		計	0円
回収率	—		
アンケート結果	<p>同じリズムでも、小節をずらすことで別のリズムになることが印象に残った。（生徒）</p> <p>今まで音楽はメロディーが大切だと考えていたが、リズムだけでも音楽として成り立つことを実感した。（生徒）</p> <p>1番最後に聴いた、オレカマのリズムの重なり合いがとても印象に残った。机を使った演奏が特に面白かった。（生徒）</p> <p>ギターを習っているが、ギターは主にメロディを弾く楽器なので、打楽器だけであんなにたくさんの綺麗な音が出せていて感動した。1時間があったという間で一曲一曲に引き込まれた。（生徒）</p> <p>演奏者も音楽を奏でることを楽しんでいるように見えたので、聴いているこちら側も楽しめた。（生徒）</p>		
担当者コメント	<p>「であーと」は、文化の家に関わりのあるアーティストたちが、市内中学校でパフォーマンスを行う教育プログラム。長久手中学校では、令和4年度まで創造スタッフを務めた弓立氏が率い、現創造スタッフである内田氏も所属する打楽器アンサンブルグループ「弘和業務店」が初登場。様々な打楽器を音楽室に持ち込み演奏することで、生徒を驚かせた。特に『テーブルの音楽』は印象に残ったようで、多くの生徒がアンケートにおいて「テーブルで音楽が奏でられることを初めて知った」といった感想を述べていた。今回のプログラムのテーマである「リズムとは」「音楽におけるリズムの重要性」についても、生徒によく伝わっていたように思う。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	おんぱく2024 真夏のおんがく大縁日 まちなかコンサート		
日時	令和6年7月6日(土)	11時00分開演	
場所	①青少年児童センター ②北小校区共生ステーション		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	内田一晟(Per、音楽系創造スタッフ)、伊藤天音(Key、音楽系創造スタッフ)		
公演内容	上を向いて歩こう、summer、やさしさに包まれて、ほか		
入場者数	①138	②115	
チケット料金	無料		
支出	委託費		
	計		0円
収入	入場料		
	計		0円
回収率			
アンケート結果	<p>打楽器のいろいろな音があって子どもも楽しんでいました。(市内、30代女性)</p> <p>30分というのが子連れにちょうどよい。パーカッションが目でも楽しく自由に聞かせてもらえた。</p> <p>(市外、40代女性)</p> <p>出演者の名前が知りたくなった。途中で静かなサンドペーパーに持ち替えた時、遊んでいた子たちも注目していてすごかった。(市内、30代女性)</p>		
担当者コメント	<p>8月4日開催の「おんぱく2024～真夏のおんがく大縁日～」を告知と市内の機運を高めるため、プレコンサートとして「まちなかコンサート」を実施している。今回は創造スタッフによる演奏となった。他のまちなかコンサートの金管や木管の重奏に比べ、ボリューム感が劣る分、普段から幼児や小学生向けにアウトリーチを行っていることもあり、子ども達の興味をひく演奏方法やMCでカバーすることができた。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	中学校であーと（北中学校）		
日時	令和6年7月10日（水）		
場所	長久手市立北中学校		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	なし
出演者	弘和業務店（打楽器アンサンブルグループ） 弓立翔哉、上村笑穂、内田一晟		
公演内容	打楽器アンサンブルのアウトリーチ surprise！ Trio per Uno Table（テーブルの音楽） リズム実践コーナー オレカマ		
入場者数	243	中学1年生7クラス	
支出		委託費	90,000円
		計	90,000円
収入		文化庁助成金	金額未定
		計	0円
回収率			—
アンケート結果	<p>音楽で大事なのはメロディだと思っていたが、リズムだけで様々な音を演奏できていて、すごいと思った。（生徒）</p> <p>テーブルの音楽では、テーブルと手だけで演奏していてとても驚いた。音楽の世界は広いと感じた。（生徒）</p> <p>打楽器でも種類によっては音が違い、叩き方が独特なものもあって、より個性感情が出ていた。息が合わさった団結力を感じ、素晴らしいと思った。（生徒）</p> <p>三人の演奏しているときの表情が豊かでいいなと思った。（生徒）</p> <p>リズムだけでもテンポや重なり方を変えれば印象がガラッと変わることが印象に残った。（生徒）</p>		
担当者コメント	<p>「であーと」は、文化の家に関わりのあるアーティストたちが、市内中学校でパフォーマンスを行う教育プログラム。打楽器アンサンブルグループの「弘和業務店」が長久手中学校公演に続き、北中学校でもプログラムを披露した。生徒を2つのグループに分け、2つのリズム（実は小節をずらした同じクラベのリズム）を手で叩くことでリズムを実践するコーナーでは、難しいという声が拳がりながらも、生徒が笑顔で取り組んでいる様子が見受けられた。</p> <p>担当者の反省点として、マイクセットを忘れてしまい、昼休みのアトリウムでの演奏において生徒にMCが十分に届けられなかったため、次回実施時には必要備品として忘れずに持参したい。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	おんぱく2024 真夏のおんがく大縁日 まちなかコンサート		
日時	令和6年7月15日（月）	11時00分開演	
場所	①中央図書館 ②南小校区共生ステーション		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	細川杏子(FI)、小田 美沙紀 (CI)、石川貴憲 (Sax)、三好 彩 (Fg)		
公演内容	おんぱく大縁日!! (芳賀傑 委嘱作品)、ミッキーマウスメドレー、ジブリメドレー、浜辺の歌		
入場者数	①232	②97	
チケット料金	無料		
支出	委託費		
	計		0円
収入	入場料		
	計		0円
回収率			
アンケート結果	<p>子どもに本物の楽器の音に触れさせる機会を得ることができ、複数箇所での開催も住民としてとても有り難いと感じる。(市内、30代男性)</p> <p>知っている曲や楽器があって楽しく、今のところほぼ全部に来ている。(市内、10代女性)</p> <p>南共生ステーションが近いのもっとやってほしい。スタッフの対応もよかった。(市内、70代女性)</p>		
担当者コメント	<p>8月4日開催の「おんぱく2024～真夏のおんがく大縁日～」を告知と市内の機運を高めるため、プレコンサートとして「まちなかコンサート」を実施している。今回は木管四重奏による公演。終演後には奏者に近づき、楽器を触ったり質問したり、楽器そのものに興味を持つ子どもが増えてきた。図書館には200人以上の来場があり、スタンプラリーの効果もあり、リピーターが多くなった。チケット完売を嘆く声も多く、チケットが無くても当日楽しめるかを問合せのお客さんも多くいた。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	EPAD ReLIVE THEATER 2024 ～時を越える舞台映像の世界～		
日時	令和6年7月19日（金）	10時30分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	普及・啓発事業（提携）		
出演者	EPAD事務局		
公演内容	<ul style="list-style-type: none"> ・AM上映：白石加代子『百物語 阿部定事件予審調書』（演出：鴨下信一） ・PM上映：二兎社公演41『ザ・空気』（作・演出：永井愛） ・EPAD事務局によるシンポジウム 		
入場者数	42	入場率	95.5%
チケット料金	無料		
支出	提携事業のため支出なし		
		計	0円
収入	提携事業のため収入なし		
		計	0円
回収率			
アンケート結果	<p>細かい情報を知ることができよかった。これからの期待。（市外、50代女性）</p> <p>上映する作品（素材）と今回の上映会の目的が一致せず曖昧に感じた。（市外、40代男性）</p> <p>EPADのプロジェクトに非常に可能性を感じている。応援していきたい。（市外、50代男性）</p>		
担当者コメント	<p>地域の劇場では観ることのできない演劇作品の上映会としてのメリットを紹介することに加え、実際に劇場がEPADの上映会を実施することになった際のノウハウや設営などを劇場職員も一緒に経験させていただくことができ、大変勉強になった。上映会・シンポジウムでは、上映会に向けて具体的な質問や指摘なども多々あり、劇場関係者の期待の高さを感じることができた。それだけに、県芸や近隣劇場への広報活動を強化し、EPADの活動を多くの方に知って頂く努力が必要と感じた。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	おんぱく2024 真夏のおんがく大縁日 まちなかコンサート		
日時	令和6年7月21日(日)	11時00分開演	
場所	①西小校区共生ステーション ②福祉の家		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	箱崎由衣(CI)、中村由加里(CI)、高間 健悟(CI)、小田 美沙紀(B.CI)、石川貴憲(Sax)		
公演内容	祭りマンボ、アメリカンパトロール、宝島、少年時代、おんぱく大縁日、ねこバス		
入場者数	①109	②116	
チケット料金	無料		
支出	委託費		
	計		0円
収入	入場料		
	計		0円
回収率			

アンケート結果 鳥肌が立った。チケット買いたかった。(市内、30代女性)
チケットが買えなかったので、今日参加できてよかった。(市内、30代男性)
手拍子で参加しながら曲が速くなっていくところが楽しかった。(市内、30代女性)

担当者コメント 8月4日開催の「おんぱく2024～真夏のおんがく大縁日～」を告知と市内の機運を高めるため、プレコンサートとして「まちなかコンサート」を実施している。最終回となり、クラリネット四重奏と最後の曲「おんぱく大縁日」にサクソが加わった編成での公演となった。吹奏楽の定番曲と子どもでも楽しめる曲が上手く混ざっており、クラリネットの魅力も伝わった様子だった。本公演のチケットが完売になっていることを、まちなかコンサートで知る人も多く、完売周知も積極的に行う必要がある。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	三遊亭わん丈「怪談牡丹灯籠通し」		
日時	令和6年7月28日（日）	15時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）		
出演者	三遊亭わん丈		
公演内容	落語「怪談牡丹灯籠通し」 作：三遊亭圓朝	落語「牛ほめ」	
入場者数	212	入場率	74.6%
チケット料金	（前売）フレンズ会員3,000円、一般3,300円 （当日）3,300円		
支出	提携事業のため支出なし		
		計	0円
収入	38,850円		チケット販売協力費
		計	38,850円
アンケート結果	<p>落語を生で聞くのは初めてだが、聞き入るほど情景が浮かび興味深かった。怖い話を楽しむ経験も初めてだった。（市内、20代女性）</p> <p>わん丈さんすごい、こんな落語はじめて聞いた。落語のイメージをぶっこわす新しい試み素晴らしい。（市外、70代女性）</p> <p>愛知県で牡丹灯籠通しを聞けることはほとんどないので、とても貴重な企画だった。（県外、40代男性）</p>		
担当者コメント	<p>怪談牡丹灯籠は、三遊亭圓朝の怪談噺21章から成り、全編通すと30時間以上の大作を3時間に凝縮し、複雑な登場人物も大扇子に書き込み匠みな解説と話術で会場を沸かせていた。夏休み中の怪談噺とあり、子どもも多く来場されており、牡丹灯籠上演後に子ども向けに「牛ほめ」を1席披露しお開きとなる。3時間45分の怖くて楽しい笑いの時間であった。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	おんぱく2024 真夏のおんぱく大縁日		
日時	令和6年8月4日（日）	11時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 全館		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	大井剛史（指揮）、おんぱくスペシャルウィンドオーケストラ（メインコンサート、井戸端音楽会など 東京佼成ウィンドオーケストラ×東海地区プロ奏者）、森寿美（楽器妖怪はかせ）、林友里菜（演舞、舞踊系創造スタッフ）、橋寛憲（マイつくも神工房、フランチャイズアーティスト）、伊藤天音（音楽系創造スタッフ）、高野葵（大縁日屋台コーナー 美術系創造スタッフ）、屑屋あず、（裏手道中膝栗毛 演劇系創造スタッフ）、小林大地（大縁日屋台コーナー）		
公演内容	メインコンサート「おんぱく大縁日!!～楽器妖怪が通りゃんせ～（芳賀傑委嘱作品）ほか」、東京佼成ウィンドオーケストラミニコンサート、裏手道中膝栗毛、楽器体験、音楽百鬼夜行、今昔おんぱく物語、通りゃんせ踊りゃんせ、つくも神古楽器の館、あかちゃんといっしょ、井戸端音楽会、マイつくも神工房、おんぱく大縁日屋台コーナー、大縁日の隠し蔵、おんぱく食堂、ファンファーレ、ゲリラコンサート		
入場者数	724	入場率	98.6%
チケット料金	（前売）一般（中学生～大人）1,500円 0歳～小学生500円 （当日）一般（中学生～大人）1,500円 0歳～小学生500円		
支出	委託費	9,421,827円	
	印刷製本費	428,110円	
	消耗品費	161,773円	
	著作権使用料	未確定	
	計	10,011,710円	
収入	入場料	783,000円	
	計	783,000円	
回収率			7.8%
アンケート結果	ゲリラコンサートが待ち時間も退屈せずに過ごすことができ、1歳8ヶ月の子どももずっと楽しそうだった。（市内、30代女性） ステージで一緒にマーチング体験が子どもにとっても印象に残っていた。（市外、30代男性） おんぱくファンで今回も楽しめたが、2016,2018みたいに子どもにもわかりやすいキャラクターがほしかった。妖怪は子どもにわかりづらい。（市内、40代女性）		
担当者コメント	おんぱく実行委員会による約1年の準備期間を経て、6年ぶりの本格開催となったおんぱく。メインコンサートで演奏する吹奏楽の大作「鳳凰が舞う」を軸に、鳳凰が来ることを知った楽器妖怪たちが、鳳凰を迎え入れるための大縁日を開催するという設定。 歩き始めまでの赤ちゃん向けコンサート、メインコンサートに向けた振り付けを覚えるワークショップ、つくも神を作る美術ワークショップなど、様々なアトラクションを同時多発的に開催し、大縁日を楽しんだ最後は鳳凰が現れるメインコンサート。本格的な吹奏楽の楽曲とともに楽器妖怪はかせの研究をともに進めていくなかで、楽器妖怪たちの様子が変わり、「鳳凰が舞う」が演奏されるとついに文化の家に鳳凰が現れ、何色もの羽根を振り撒き、歓声が沸		

